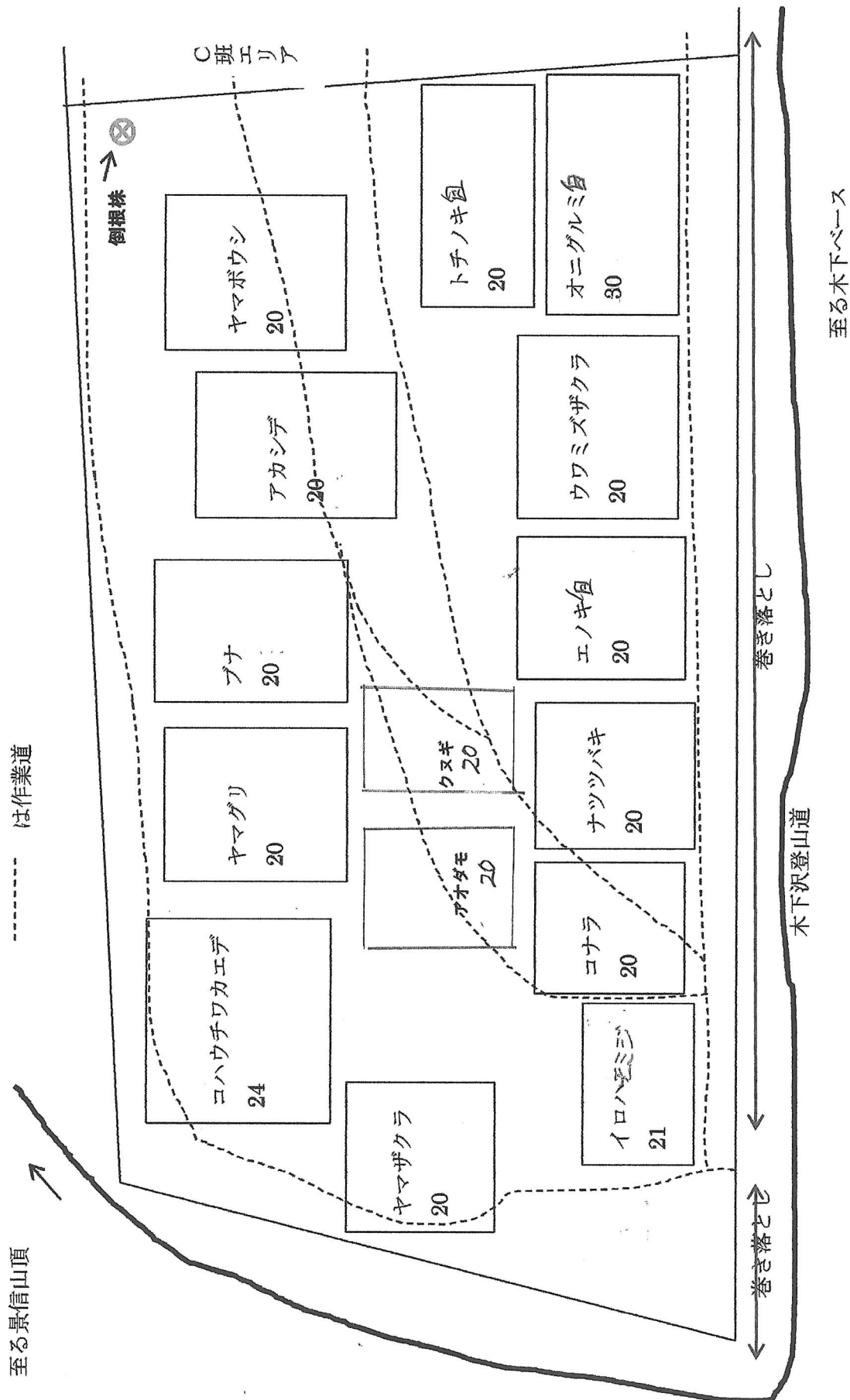
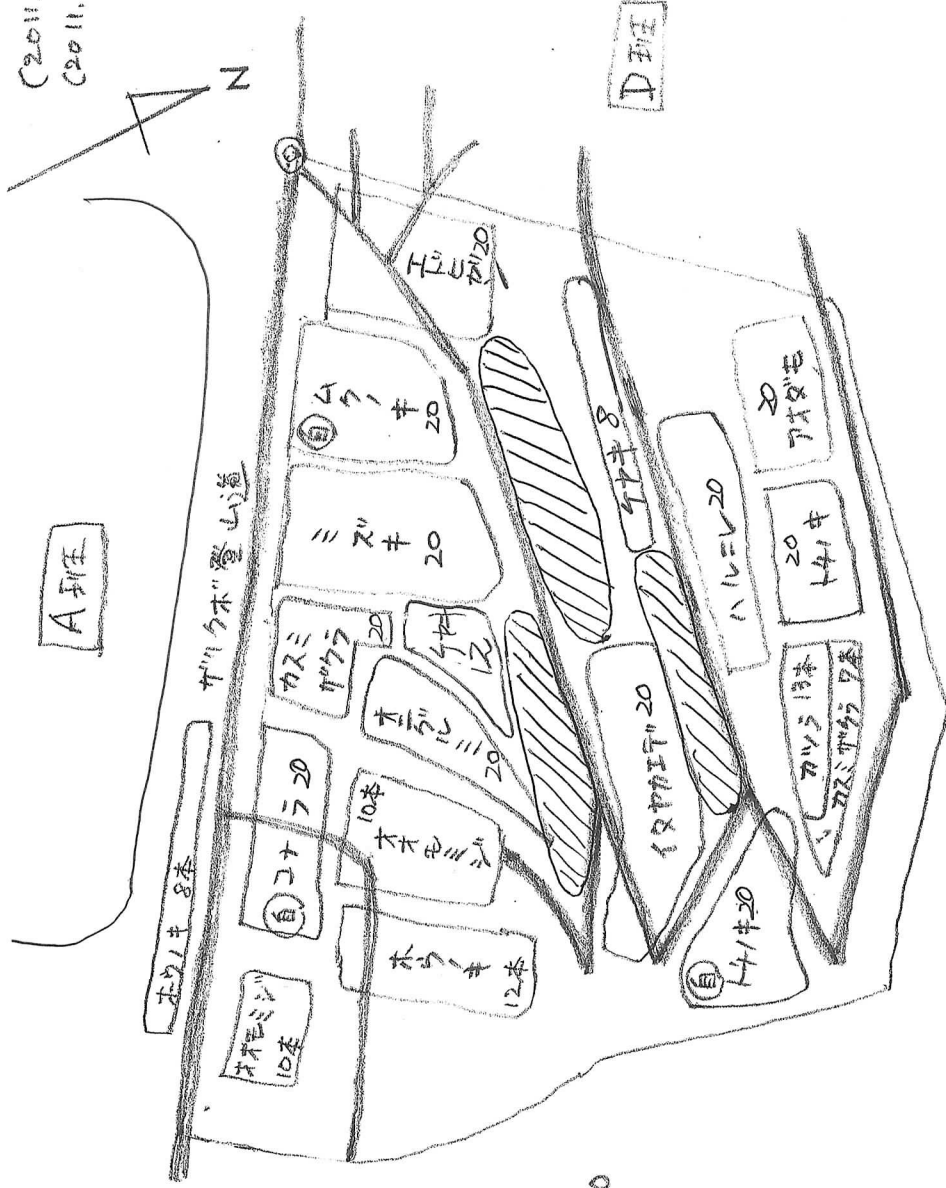


2011年 11A植栽配置図 (A班松隈)



2011年 B班 植栽図

(2011.4.9)  
(2011.4.16)



● 樹種と本数

オオモミジ 10本, ①コナラ 20, カスミツクラ 20+7

②ミズノキ 20, ③△クノキ 20, イトヒガン 20

ホウノキ 12+8, オニグルミ 20

④トチノキ 20, イタチカエデ 20

ハルニレ 20, ツツジ 20, アケボノ 20+トチノキ 20

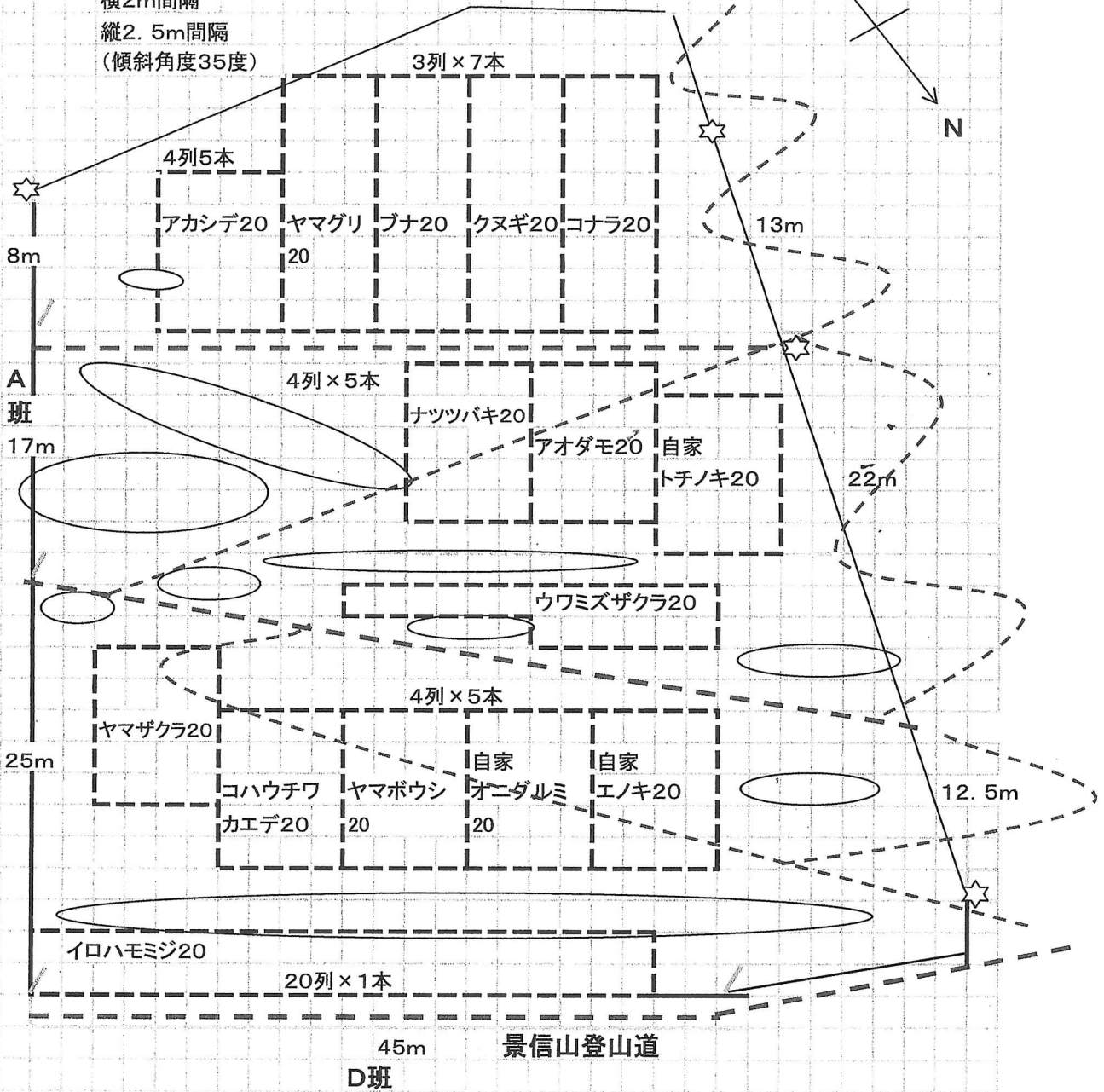
カワラナ 13

※右図⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿に本数表示が与えられている 20本

C班植栽地 植樹計画 (300本/15樹種)

H23.4.17  
石井

横2m間隔  
縦2.5m間隔  
(傾斜角度35度)



**区域概要** 影信山東側の221林班ほ小班の択伐跡地で、全体で横幅約100m・上下約70mで、7000㎡のエリアです。中段に、影信山への登山道が、西から東にあります。D班は50m×40mの2000㎡位です。

① 作業道 上段、中段、下段、及びつなぎの作業道がある。

また、最下段から上の横道に下る作業道あります。

② 地拵え 傾斜がきついので以下の手順で最初に巻落しの棚を、上下約15mの間隔で3段

イ 巻落しの棚づくり 設定し、C班の間伐材で2mの杭を作り、丈夫な棚を作る。同時に道用杭も。

ロ 倒木処理 石や切った丸太の落下防止とする。

ハ 地拵え 倒木をチェーンソーで丸太切りし、棚に水平に置く。枝などで柵を作る。

ニ 作業道 棚(柵)ができた上のエリアの地拵え

ホ 作業道 上下の棚を斜めに結ぶ作業道

ホ 道具のデポ 上段作業道脇にデポ地

カケヤ 大2本

唐鍬 10本

大鎌 1本

ブルーシート 1枚

③ 植樹の配置

植樹は幅2m・上下2.5mの間隔で、立木・その他障害物があるときは、植えずに、できるだけ基盤の目に、なるように植えましょう。全面積の50%に植樹と考えています。成長の早い木、高木、陽樹など樹木の特性を考慮し配置。

